

新国立競技場整備事業(第Ⅱ期)の 契約締結について

平成28年9月30日

独立行政法人

日本スポーツ振興センター

JAPAN SPORT
COUNCIL

H27.8

～

- ・「新国立競技場の整備計画」及び「業務要求水準書」の策定
事業費の上限額を設定（工事費：1550億円、設計・監理等費40億円）。
- ・公募型プロポーザル方式（設計交渉・施工タイプ）による公募



H27.12.22

優先交渉権者の決定



H28.1.29

～

第Ⅰ期事業（設計・施工技術検討）の契約締結

関係団体等との協議により設計内容を改善しつつ、第Ⅱ期事業（工事施工、設計意図伝達、工事監理）契約に向けた図面等を取りまとめ。

(H28.11.30)



H28.8.26

～

JSCと優先交渉権者による価格等の交渉

- ①設計内容が業務要求水準書を満たしていること
- ②提案工期内に工事が完了できること
- ③見積価格が提案事業費を超えないこと

を確認。この結果を技術提案等審査委員会において調査審議。

H28.9.1

2

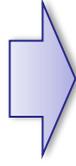
第Ⅱ期事業契約の締結（～H31.11）

技術提案等審査委員会

価格等の交渉のプロセスや
内容の妥当性について調査審議

■ 第1回価格等の交渉(H28.8.26)

- 見積書等の受領、交渉プロセスの確認



■ 第2回～第5回価格等の交渉(H28.8.26,29,30,31)

- 工程計画・施工方法の妥当性確認
- 事業費(工事施工、設計意図伝達、工事監理)の妥当性確認
 - ▶ 主要部材(鉄骨、特高受変電設備、エレベーター等)の価格の妥当性を確認。
 - ▶ 図面と見積書等の整合性確認を行い、相違が見られた項目を適正化。



■ 第6回、第7回価格等の交渉(H28.8.31,9.1)

- 技術提案等審査委員会の調査審議内容の確認
- 見積条件の最終確認
 - ▶ 要求水準に適合した見積条件のもと、見積価格が提案事業費を超えないこと及び提案工期が遵守できることについて双方で最終合意。

■ 工事費

(税込)

事業者*より提示された見積価格	148,999,921,200 円
技術提案時の提案事業費	148,999,932,000 円

「新国立競技場の整備計画」に基づき

1550 億円程度

■ 設計・監理等費

(税込)

事業者*より提示された見積価格 (既契約の第 I 期分を含む)	3,985,845,840 円 (うち、第 II 期契約額 1,494,568,800円)
技術提案時の提案事業費	3,985,848,000 円

参考資料 1

※「新国立競技場の整備計画」に基づき
設定された設計・監理等費の上限額

40 億円程度

(参考) 設計内容が業務要求水準書を満たしていることについて

業務要求水準書で求められている機能を基本としつつ、関係するワークショップ（WS）における協議を通じて、以下に示す整備内容等を改善・調整。これらの内容については、業務要求水準に適合していることを技術提案等審査委員会にて確認。

Tokyo2020大会組織委員会（オリパラWS 計25回開催）

オリパラ大会時を想定した観客席の配置（VIP、メディア席等を含め実質席数約6万席を確保）等

障がい者団体・子育て団体・高齢者団体（ユニバーサルデザインWS 計12回開催）

外部動線のアクセシビリティの向上（エレベータの追加）、車いす席のレイアウト（分散配置）等

スポーツ関係団体（スポーツWS 計3回開催）

（日本アンチ・ドーピング機構、日本陸上競技連盟、日本サッカー協会、Jリーグ、日本ラグビーフットボール協会）

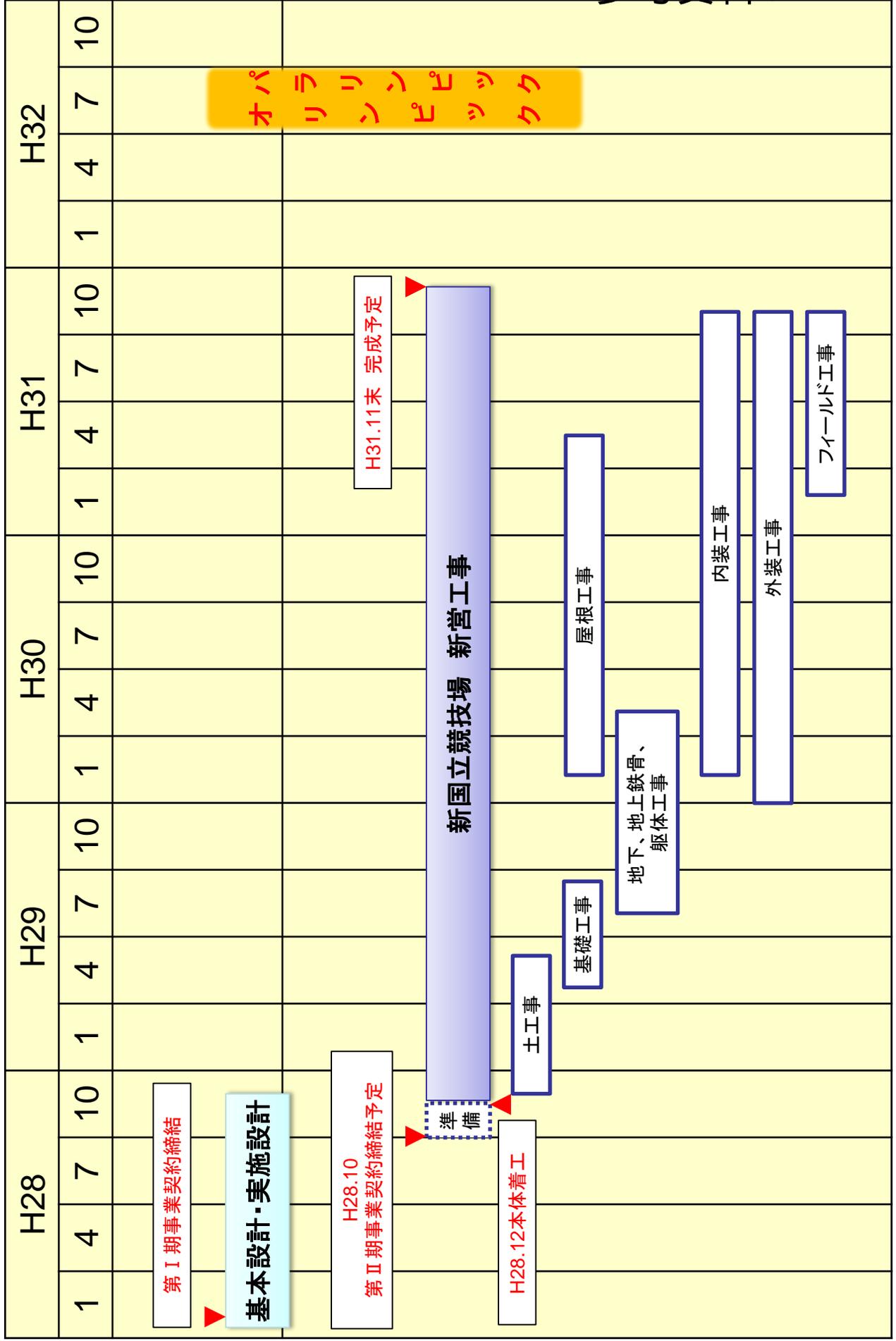
フィールドの仕様、ドーピング・選手・運営の各関連諸室のレイアウト、動線計画 等

メディア関係団体及びスポーツ団体（メディアWS 計4回開催）

（NHK、民放幹事社(TBS)、日本陸上競技連盟、日本サッカー協会、Jリーグ、日本ラグビーフットボール協会）

5 中継車等の駐車スペース、カメラポジション、配線ルート、メディア関係諸室のレイアウト 等

第Ⅱ期事業契約締結後も、組織委員会をはじめとする関係団体等と引き続き必要な調整を図りつつ、整備計画に即したスタジアム整備を進めて行く予定。



- 計画敷地 東京都新宿区霞ヶ丘町10番1ほか
- 敷地面積 約113,000㎡
- 建築面積 約72,400㎡
- 延べ面積 約194,000㎡
- 階数、高さ 地上5階、地下2階 建物高さ47.35m
- 構造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造他
- 座席数 オリンピック競技大会開催時 実質席数約60,000席
(将来約80,000席への増設が可能な計画)
- 事業工期 2016年10月(契約)～2019年11月(完成・引渡し)
- 工事費 約1,490億円
- 事業者 新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾
建築都市設計事務所共同企業体



ホール



選手更衣室



車いす席



スタジアム内観

趣 旨

新国立競技場整備事業（設計業務及び新営工事）の調達にあたり、設計・施工一貫による調達の実施等について、技術提案等に係る審議に関し、専門的かつ公正な調査審議を実施するため、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「センター」という。）に新国立競技場整備事業の技術提案等審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

審議事項

委員会は、新国立競技場整備事業の調達に関し、次に掲げる事項を調査審議する。

- ① 技術提案の審査等に関すること。
- ② 優先交渉権者との価格等の交渉に関すること。
- ③ その他センター理事長が必要と認める事項に関すること。

委 員

秋山 哲一	東洋大学教授
工藤 和美	建築家／東洋大学教授
久保 哲夫	東京大学名誉教授
香山 壽夫	建築家／東京大学名誉教授
深尾 精一	首都大学東京名誉教授
○村上 周三	東京大学名誉教授
涌井 史郎	東京都市大学教授

（50音順、○：委員長）